

Q 自己申告制により労働時間を把握する場合の注意点は

A 自己申告制はあいまいな労働時間管理となりがちですから、客観的な記録による方法をとるべきですが、やむを得ず自己申告制をとる場合は、次の点に注意する必要があります。

- 1 自分の働いた時間を適正に申告するよう、労働者に対して十分な説明をする。
- 2 申告された時間と実態が合っているかどうかを定期的に調査する。
- 3 時間外労働の上限時間数を決めたり、残業手当を定額払いとするなど、労働者の正確な申告を妨げるような要因を作り出さないようにする。

なお、詳細については、

「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」にあります。